

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科	
科目名称 [英語名称]	公衆栄養学実習 [Practice in Public Health Nutrition]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	305200	授業形態	実習	単位数	1	配当学年	3年次	
教員氏名	長友 多恵子				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP2(2) DP3(3) D P3(4)		
授業概要	<p>本授業の目的は、公衆栄養学Ⅰで学んだ知識をPDCAサイクルの中でどのように展開していくかについて、学生自身が考え解を見いだしていけるようにすることです。【知識・理解を応用し活用する能力】</p> <p>【汎用性技能を応用し活用する能力】まず、健康・栄養問題の現状とその解決方法について、国民健康・栄養調査および健康日本21などの既存資料から問題点を抽出し、それらを改善するための計画を立て実施し、評価に基づいて改善を行い、再度、計画・実施・評価を行ってそれらの一連の流れをまとめます。次に、食生活指針や食事バランスガイドなど、わが国で実施されている健康・栄養施策について、管理栄養士としてそれらを推進していくためにはどのような方策を考案したらよいかについて、上記と同様の流れで学びます。さらに、災害時の食支援において管理栄養士ができることは何かについて、上記と同様の流れで学びます。また、県庁・保健所・市町村の中で、管理栄養士がどのような業務を行っているかの事例を提示します。</p>							
関連する科目	「公衆栄養学Ⅰ」「公衆栄養学実習」「公衆衛生学」「健康管理概論」「保健医療福祉システム論」							
授業の進め方と方法	個人やグループで課題に取り組み、発表を行うことを中心に実施する。また、関連の調理実習も行う。 【チェックワーク・リーダーシップ】【コミュニケーション・スキル】							
授業計画	1回目 健康・栄養問題の現状とその解決法(課題抽出→計画→準備) 2回目 健康・栄養問題の現状とその解決法(一部実施→フィードバック) 3回目 健康・栄養問題の現状とその解決法(改善計画→準備) 4回目 健康・栄養問題の現状とその解決法(一部実施→フィードバック) 5回目 健康・栄養問題の現状とその解決法(評価のまとめ) 6回目 地域診断(既存資料を用いた地域の問題点を探る) 7回目 行政栄養士の業務(保健所における栄養士の役割) 8回目 行政栄養士の業務(市町村における栄養士の役割) 9回目 保健指導における集団指導1(立案、媒体作成、発表練習) 10回目 保健指導における集団指導2(班ごとの発表) 11回目 災害時の食支援における管理栄養士の役割(課題抽出→計画→準備) 12回目 災害時の食支援における管理栄養士の役割(一部実施→フィードバック) 13回目 災害時の食支援における管理栄養士の役割(改善計画→準備) 14回目 災害時の食支援における管理栄養士の役割(一部実施→フィードバック) 15回目 災害時の食支援における管理栄養士の役割(評価のまとめ)							
授業の到達目標	健康・栄養関連の問題やニーズを、確かな情報収集・分析により適切に把握し、それらの課題分析・アセスメントに基づく公衆栄養活動計画の作成・実施・評価・改善するための一連の知識や技能を習得する。 【汎用性技能を応用し活用する能力】【人間力、社会性、国際性の涵養(態度・志向性)】							
授業時間外の学修	健康・栄養問題の現状について復習する(3時間) 我が国の健康・栄養施策について復習する(3時間) 災害時に適切な食支援を行うために必要なライフステージ別の栄養管理について復習する(4時間) スーパーやコンビニ等に出かけ、食品の価格、販売量、旬などをチェックする(3時間) 媒体作成に活用できるスキル(パワーポイント、静止画、動画等)について学ぶ(1時間) 評価のまとめに活用できるスキル(エクセル、ワード等)について学ぶ(1時間)							
課題に対するフィードバック	レポートは評価をし、解説を行います。プレゼンテーションと質疑応答や発表の中でアドバイスをを行います。	評価方法			以下の項目に基づいて評価します。 1) レポート取り組み状況40点 2) 発表40点 3) 授業態度等20点			
テキスト	・公衆栄養学改訂第6版(南江堂)							
参考書	・国民健康・栄養調査結果(厚生労働省)・宮崎県県民健康・栄養調査結果(宮崎県)・日本人の食事摂取基準2015年版(厚生労働省)							
備考								